

大門だより

No. 4
(474号)

荒川区立大門小学校
校長 神田 やよい
令和6年 7月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「成長の夏」

副校長 萩野 隆介

今年の関東地方の梅雨入りが、6月21日頃と気象庁より発表されました。今年は例年より14日程度遅い梅雨入りとなりました。まだまだ、湿度も高く、夏の訪れが待ち遠しい日々を過ごしていることと思います。

さて、今週より7月に入ります。7月といえば学校、そして子供たちにとりましては、1学期のまとめの月、さらに夏休みを前にして、長期休業に対する楽しみや期待が膨らむ月でもあると思います。特に4年生は下田臨海学園が実施されます。下田臨海学園が今夏の一番の思い出となることを願いますとともに、諸準備に万全を期し、子供たちの安全や健康を最優先に行って参ります。御家庭におかれましても、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ところで、これから子供たちにとって待望の夏休みがやってきます。長い休みを十分に活用して、子供たちには自己啓発に励んでほしいと思います。毎年感じるのですが、休み明けのどの子供たちの姿にも、より一層のたくましさや心身の大きな成長が認められることに嬉しさを感じます。「大きな成長」や「成長の速さ」という点では、私はいつも竹の成長の速さに神秘的な驚きを感じています。ではその竹の成長の仕組みはどうなっているのか、自分なりに回答を得ることができましたので御紹介します。「竹は夏の間、葉の光合成で得た養分をせっせと地下茎に蓄える。翌年、この養分をタケノコにどんどん送り込むので一気に成長することができる。この間、親竹は栄養をほとんど使わない。しかも、1つのタケノコを育てるのに4～5本の親竹が協力して養分を与える。そうやってタケノコの成長を見届け、古い葉は枯れ落ちるのである。」これは、植物界の営みですが、深い感銘を覚えます。

長い休みを通して、子供たちの精神面、身体面がタケノコのようにすくすくと、そして竹のように強くしなやかに大きく成長できるよう、期待し願っています。また、親竹のように、子供たちを協力して支えていくことが大人の大切な役割だと考えます。

【6月の行事より】



6月8日（土）

道徳授業地区公開講座

セラピー犬とふれあいました。
命の大切さについても学びました。



【7月の行事予定】



日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	月	委員会④	12	金	水曜時程 集会委員（朝） 避難訓練 寺⑩	23	火	
2	火	4時間授業 研究授業③（4-1のみ5時間）	13	土		24	水	下田臨海学園（4）終
3	水	個人面談（全）始	14	日		25	木	
4	木	水曜時程 5時間授業	15	月	海の日	26	金	
5	金	水曜時程 箏クラブ（朝） 5時間授業	16	火	水曜時程 大掃除週間始	27	土	
6	土		17	水	着衣泳（3・4が1・2h）（5・6が3・4h）	28	日	
7	日		18	木	水曜時程 着衣泳予備日 下田臨海事前健診（4） 14：10～	29	月	夏季水泳指導始 寺子屋・水泳①
8	月	全校朝会 きょ班遊び② クラブ④	19	金	4時間授業 終業式（代表2・5・の） 給食終 大掃除週間終 水泳指導終	30	火	寺子屋・水泳②
9	火	水曜時程 安全指導	20	土		31	水	個人面談（全）終 寺子屋・水泳③
10	水	4時間授業	21	日	夏季休業日始			
11	木	4時間授業 研究授業④（3-1のみ5時間）	22	月	下田臨海学園（4）始			